



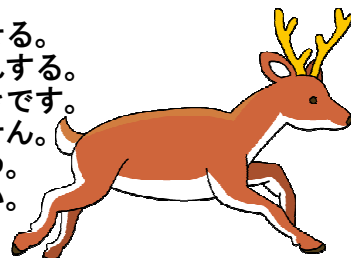
知っておきたい！シカ・イバシシなどの対策

☆地域みんなで有害鳥獣被害対策☆
 須木地区では、ここ数年シカが急激に増えていて農地や山林などに甚大な被害を及ぼしています。一部の猟師さんのシカ駆除だけでは解決できません。皆さんで出来る対策を大人、男性だけではなく、女性や子ども、ご年配の方まで一緒に取り組んで頂きたいと思ひます。次世代のことを考えて、地域全体で知恵を出し合っていくことが大切です。
 ※シカ等を少しでも減らすには、餌を与えない！

■一体、須木地区には、どれくらいのシカが生息しているの？
 旧須木村の面積は、243.47km²、この内の92%は山林です。223.99km²（約22586町）その山林1町あたりに、シカが1～3頭くらい生息しているとして、約22,600頭～約67,800頭のシカの数になります。
 年間、須木猟友会では、約700～800頭のシカを駆除していますが、上記の数になると到底、駆除しきれぬ数ではありません。（十分ご理解ください）

■シカはどうして、こんなにも増えたの？
 昭和55年度に狩猟が解禁されてから平成5年度まで、雄ジカのみが狩猟が行われていました。シカは一夫多妻なので、雄ジカのみが捕獲では全体の個体数を減らすどころか雌ジカが野放しになったことで、逆に2倍、3倍と増え続けていきました。
 現在、雌ジカの保護は無く駆除対象となりましたが、他にも様々な原因が考えられます。
 ・山間部地域の人口減少に加え林業が衰退しつつあり、山林の管理が行き届いていない。
 ・山に餌が減少し、しかも生き抜くため雑食（千種類以上）となり、人里にも慣れた。
 ・周辺に人間が見過ごしている餌が豊富にあり、鹿の栄養価が高くなって来ている。
 ・農地を守りきれっていない。シカに餌の在りかを教え、餌付けした状態になっている。

■まずは、皆さんで出来るシカ対策を始めましょう。
 ・シカを見かけたら追い払う！ふもとは危険な場所だとシカ等に認識させる。
 ・鳥獣に住家を与えない！裏庭や裏山、道沿いの山林を見通しよく手入れする。
 ・秋から冬の草刈を控える！シカは、新芽や稲刈り後のヒコバエが大好きです。
 ・農地周辺の防護柵を時期的に撤去しない！設置したのに意味がありません。
 ・防護柵の管理を徹底して行う！シカ等を絶対に侵入させない意欲を持つ。
 ・有害鳥獣の被害にあった方は、すぐに須木庁舎や猟友会にご連絡下さい。

■問合せ先 須木庁舎 地域整備課 TEL 48-3131 

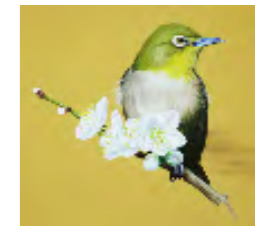
自然の中で生き生きとさえずる野鳥を楽しみましょう。

○これまで、野鳥の中で唯一認められていた愛がん飼養を目的とするメジロの捕獲は、平成24年4月から許可を行わないことになりました。皆さんのご理解をお願いします。
 ○違法に捕獲した野鳥は、飼うことができません。
 ○現在、お住まいの市町村役場から許可を受けて飼養している愛がん用の鳥類は、飼養登録の更新手続きをすることで引き続き飼うことができます。

飼養登録の有効期限は1年間です。市町村役場から交付されている飼養登録票の期限を確認し、引き続き飼う場合は、期限前に登録の更新手続きを行う必要があります。（更新には手数料が必要です。）

○更新手続きの際は、期限切れとなる飼養登録票の返納とともに、飼養鳥に装着している足環の確認を行っております。更新申請をされる方は、ご協力をお願いします。

違法捕獲・飼養は厳しく処罰されます！
 ◎飼養登録の更新手続き → お住まいの市町村役場の鳥獣行政担当課
 ※ 詳しくは、宮崎県庁 自然環境課（0985-26-7291）
 農林振興局林務課又は市町村役場にお尋ね下さい。
 須木庁舎 地域整備課 TEL 48-3131
 小林市本庁 農業振興課 TEL 23-0333



地区対抗戦 ソフトボール大会

3月24日(日)須木体育振興会主催にて、地区対抗ソフトボール大会が行われました。各地区とも、珍プレーに笑い、好プレーで盛り上がり、日頃の運動不足の解消を楽しくされていました。優勝は奈佐木地区でした。



3月9日(土)第47回小林市立須木中央保育園卒園式が行われました。卒園児は7名。自分の名前の由来、思い出、将来の夢など発表しました。無限の力をそなえた子どもたちに拍手でした。
お祝い弁当には、保育園で育てたしいたけや人参、ささげの赤飯でお祝いしました。

須木中央保育園 卒園式

3月9日(土)、須木林業研究グループ広域活動促進事業の一環で「21世紀伝えよう緑」をテーマに記念植樹祭が開催されました。

この日は、すきむらんど施設からかや周辺に100名程の関係者が集い、区内の小中学生を対象に、3月に卒業する小学6年生と中学3年生が参加しおみじ80本を植栽し、思い出の記念植樹となりました。



【趣旨・目的】

須木地区は総面積の92パーセントが林野であり、従来より森林の恩恵を受けながら今日まで発展してきました。現在、森林・林業を取り巻く情勢は、木材、特用林産物等の価格の低迷等の影響により、非常に厳しい状況にあります。須木区も林業後継者不足、雇用の場削減、森林荒廃等さまざまな諸問題が起きています。
将来を担う子どもたちに、森林・林業の素晴らしさと大切さを伝えていき、子どもたちとのふれあひの中で、林業後継者の活性化を図ることを目的としています。

郷土の森植樹祭



見事な水仙(すいせん)

今回、永田地区の萩原さん所有地のすいせんを紹介いたします。萩原さんは、祖母から20年前に譲り受けた「すいせん」を、一人で株分けされ長い年月をかけて植栽されてきたそうです。今では多くの写真家が訪れる程のスポットとして定着し、見る人の心を本当に癒してくれます。
場所は、萩原さん宅周辺とかるかや入り口奥の斜面の一面にすいせんが咲いていますので、ぜひ一度癒されてみてください。



3月20日(春分の日)に、須木地区の戦没者追悼慰霊祭が開催されました。あいにくの雨のため、会場を須木忠魂碑前広場から永田館に移し、式典には遺族など約50名が参列しました。遺族共助会の京保静雄会長が「戦争の悲惨さと平和の尊さを、未来を担う次の世代へしっかりと伝えていきたい」と挨拶しました。

須木区戦没者追悼慰霊祭

平成22年4月1日より休校となっている、鳥田町小学校、内山小・中学校が、平成25年4月1日から廃止されます。

鳥田町小学校は明治23年に設置され123年、内山小学校は明治25年に設置され121年、内山中学校は昭和22年に設置され66年、それぞれの歴史に幕を降ろすこととなります。

鳥田町小学校、内山小・中学校をご卒業された住民の方々も多くいらっしゃいます。時がたつほど母校への愛着は懐かしさとともに膨らむように感じます。

両地区住民の皆様は、この学校への愛着がとても強いものであり、今後もここを拠点として地域活動が発展していくことを期待したいと思います。

※制度上、学校としては廃止されますが、施設は今後ともそのまま残ります。4月1日から、施設管理の所管は管財課へ移ります。(鍵管理は須木地域振興課でも行ないます)現在、両施設を活用していただいている皆様、4月から担当窓口が変わりますので、ご留意くださいますようお願いいたします。



鳥田町小学校・中学校が閉校

平成25年度 教育委員会須木分室生涯学習 すき学園生募集

○学習対象者
須木地区内に在住する、50歳以上の通学可能な方。

【定員～27名程度】

○学習の場所：所須木総合ふるさとセンターや、その他の会場で実施。

○期間 平成25年4月～平成26年3月

毎月1～2回・年間15～20回・主に午前中2時間程度。

○費用 無料(活動に伴う材料費は、自己負担となります。)

※申し込み締切日 平成25年4月24日(水曜日)

■問合せ先 教育委員会 須木分室
TEL 48-2266

すき特産のホームページで ネットショッピングができます。

※すき特産のホームページは、「すき特産」で検索して下さい。

インターネットの活用は、須木の栗・柚子等の製品を少しでも販路拡大し、生産者の方々の所得向上を実現するための重要な手段となっています。これまで以上に、地域の方のご協力やアドバイス等が必要になってきます。貴重なご意見やアイデア等がありましたら、ドシドシお寄せ下さい。市外地にも自慢できる地元農産物を地域の皆さんで育て残していきましょう。

今後は須木地区の農産物を多くの方に知って頂けるような情報発信を計画中です。ご意見、ご質問のある方は、下記までお問い合わせ下さい。

■問合せ先 須木庁舎 地域整備課 TEL 48-3131
(有)すき特産 TEL 48-3085



集落支援員等研修会

3月11日(月)に、須木総合ふるさとセンターにて市が掲げる協働のまちづくりを目指して、地域支援員、地域担当職員を対象に集落支援等研修会が開催されました。

須木地区においては、防災に向けた取組みを行なう予定にしており、防災アンケートの集計結果に基づいて、今後の取組み内容を検討していきます。

3月17日(日)、小野ダムの湖面と船着場を、須木漁業協同組合、イカダ組合、バスフィッシングクラブのメンバーがゴミ清掃及び草払いを実施しました。この日は、バスフィッシング大会も計画されていましたが、水位低下のため中止となりました。



小野湖(ダム) 清掃